

ようこそ 天皇皇后両陛下



ふれあいセンター前で、出迎えた町民に笑顔でお応えになる両陛下

9月29日、天皇皇后両陛下が本町を訪問されました。「第71回国民体育大会」へのご臨場と東日本大震災復興状況のご視察のため来県されていた両陛下は、同日、車で大槌町を出発。その後、山田町役場と山田町ふれあいセンターにお立ち寄りになり、宿泊先の大槌町へと足を運ばれました。役場正面玄関前や沿道には多くの町民が詰め掛け、日の丸小旗を手に両陛下を歓迎しました。両陛下のご訪問は平成9年に大槌町で開催された「全国豊かな海づくり大会」の際のご訪問以来で、19年ぶりとなりました。

多くの町民が歓迎

両陛下をお乗せしたお車は、当日、午前11時半過ぎに大槌町役場を出発。県警車両の先導で、国道45号を北上しました。小雨がばらつく、あいにくの天候でしたが、各地区の沿道沿いには両陛下をお出迎えしようと、多くの町民が詰め掛けました。両陛下がお見えになると沿道や役場前では歓声とともに日の丸小旗が一齐に振られ、その歓迎ぶりに両陛下は笑顔で応えられていました。

庁舎で復興状況ご視察

正午過ぎ、復興状況ご視察とご昼食のため、役場にお立ち寄りになった両陛下は、佐藤信逸町長の案内で庁舎内へと入られました。庁舎4階の町長室で佐藤町長から復興状況をご聴取。

その後、庁舎5階に設けられた会場でご昼食をとられました。ご昼食には、宮内庁をはじめ達増拓也知事など13人が同席。町からは、佐藤町長と昆暉雄町議会議長が昼食を共にされました。

ふれあいセンターへ

午後2時過ぎ、両陛下は、ことし開所したばかりのふれあいセンターご視察のため役場を出発。佐藤町長の先導で同センターに入られ、山田子どもまちづくりクラブのメンバーによる施設内についての説明をご聴取されました。

約3時間のご視察を終えられた両陛下は、見送る町民に「お元気で」と声をお掛けになり、町をお立ちになりました。両陛下をお乗せしたお車が見えなくなるまで、沿道では小旗が振られ続けていました。

町の人声



川端 ミヨさん (長崎地区・75歳)

両陛下にお会いして、お話までさせていただき、生きてよかったと実感しました。「お体に気をつけてください」とお声もかけていただき、私も「両陛下もお気をつけてください」と、話しました。今日という日は私の一生の思い出です。



湊 千ホさん (北浜地区・73歳)

前は沿道から小旗を振っていました。今回は間近でお会いできてうれしかったです。今日は手作りのネックレスをしてきたのですが、皇后陛下が気にかけてくださり、「お作りになったのですか」とおっしゃられたので、あまりの感動に涙が出ました。



吉田 達彦さん (境田地区・72歳)

前回いらっしゃったときは、仕事で町を離れていて残念な思いをしました。ですから、今日は楽しみにして沿道まで来ました。両陛下のお姿は少ししか見ることができませんでしたが、こちらに手を振ってくださり、お元気な様子で安心しました。



熱烈な歓迎ぶりだった役場庁舎前



両陛下を笑顔で心待ちにしていました



ふれあいセンターに訪れた両陛下



まちづくりクラブのメンバーの説明をご聴取されました